事例No.	1002
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	熊本県・県内市町村

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・AI ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	ICTの共同開発・共同利用

事例内容・タイトル

いつでも・どこでも・だれでも「聞きなっせAI くまもとの子育て」

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和2年3月27日公表）

★ICTの共同開発・共同利用〈熊本県・県内市町村〉

○　いつでも・どこでも・だれでも気軽に妊娠、出産、子育てに関する問い合わせ可能なツールを、**県・市町村・民間企業の連携協力により共同開発し、相談対応の低コスト化・効率化を実現**。

○　利用者は、**県内全市町村の子育て情報や子育て応援の店の検索が可能**。

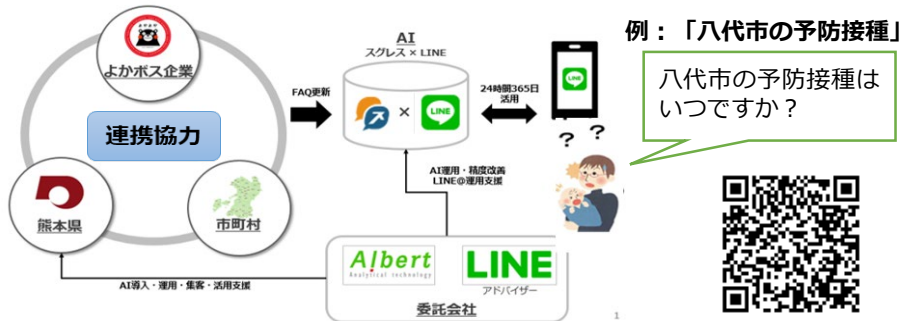
〈いつでも・どこでも・だれでも「聞きなっせAI くまもとの子育て」〉

課　題

○　核家族化が**進み子育てが孤立化**。（「孤育て」「ワンオペ」）

○　特に**男性は誰かに相談しにくい**という傾向。

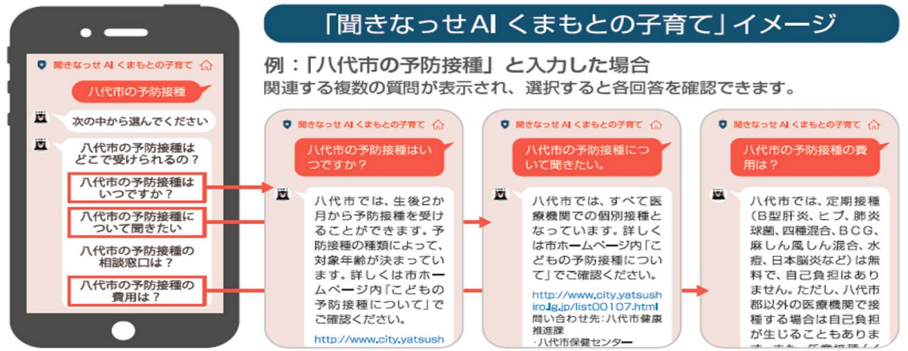
○　妊娠、出産、子育てに関することについて、**いつでもどこでもだれでも気軽に尋ねられるツールが必要**。



取　組

○　従業員の結婚や子育てを支援する「よかボス企業」と、県内全市町村が連携した「よかボス倶楽部」の連携協力により、**スマートフォンアプリとAIを活用した「聞きなっせAI くまもとの子育て」を開発**。

⇒　**県内市町村の情報取得や子育て応援の店の検索機能は全国初**。



成　果

○　**利用者：市町村の子育てに関する情報を夜間休日を問わず入手可能**。急な病気の際の対応方法や外出をサポートしてくれるお店の検索が**スマホ一つで問合せ可能**。

○　**県や市町村：相談対応の低コスト化、効率化による質の向上**。
(相談員240万円/年×45市町村＝1億800万円/年→県単独500万円で開発・運営)
住民からタイムリーに寄せられるお困りごとのビッグデータを政策に活用。

○　**民間企業：**子連れの割引や外出サポートしてくれる「子育て応援の店」（県内約2,000店舗）の利用が増加。**従業員の子育てしやすい環境整備にも寄与**。



熊本県／「聞きなっせAIくまもとの子育て」について　https://www.hapimon.jp/kiji0032968/index.html